



2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 水巻町立頃末小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	第4学年 58名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	○アイマスク体験や車椅子体験をもとに、障がい者スポーツを体験することを通して、障がい者に対する正しい理解と共に生きていくことの大切さにつくことができるようにする。
5 取組内容	<p>(1) 事前指導</p> <p>○ 車椅子体験やアイマスク体験をし、障がい者にとって生活しやすい社会の大切さについて学習する。</p> <p>(2) 障がい者スポーツを体験しよう。</p> <p>○ I'mPOSSIBLE 授業用シートを使い、パラリンピックについて理解を深める。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○ ブラインドサッカーの体験を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラインドサッカーの道具の説明 ・ドリブル練習をする。 ・パス練習をする。 ・シュート練習をする。 ・パス&シュートゲームを行う。



- ブラインドサッカーの日本代表チームの試合を見る。
- 体験してみて感想を発表する。

<p>6 主な成果</p>	<p>○車椅子体験やアイマスク体験をした際は、障がい者に対して「かわいそう。」や「大変そう。」などの印象を持つ児童が多かったが、体験を通して、「すごい。」や「かっこいい。」などプラスイメージを持つ児童が多くなった。</p> <p>○ブラインドサッカーだけでなく、他のパラリンピック競技に対しても興味を持ち関心が高まった。</p> <p>【児童の感想から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツはルールや道具が工夫されていて驚きました。 ・障がい者の方は、できることが少ないと思っていたけど、体験を通して、すごい努力をして何でもできるようになっていてすごいとおもいました。 ・ブラインドサッカーの映像を見て、とっても勇気があって楽しそうにしている、すごいと思いました。
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○昨年度までは、「福祉体験」ということで、車椅子体験やアイマスク体験で終わっていたので、障がい者というよりお年寄りに対する感想が多かったが、今回、障がい者スポーツ体験を位置づけることで、子どもたちの福祉に対する考えが深められるように工夫した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○障がい者スポーツ用の道具が少なく、準備するのが大変である。</p> <p>○パラリンピックの選手との交流などを行いたいと思った際、交渉の仕方など難しい面もある。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○ブラインドサッカーだけでなく、いろいろな障がい者スポーツを体験させる機会を設けるようにしていく。</p> <p>○総合的な学習の時間での取り扱いを継続していく。</p>